第 13 講　江戸時代Ⅱ

1　江戸幕府の外交

①徳川家康の平和外交

豊臣秀吉の強圧的外交を改め，平和外交を展開。キリスト教は当初黙認(もくにん)したが，のち厳禁した。

☆徳川家康は，アンナン(ベトナム)・ルソン(フィリピン)・カンボジアに修好を求める外交文書を国の代表者として送った。

A　背景

あ　**南蛮人**(なんばんじん)(＝ポルトガル人・スペイン人など)

15 世紀末以降の大航海(だいこうかい)時代における**カトリック〔旧教〕国**ポルトガル・スペインの植民地獲得活動。

い　**紅毛人**(こうもうじん)(＝オランダ人・イギリス人など)

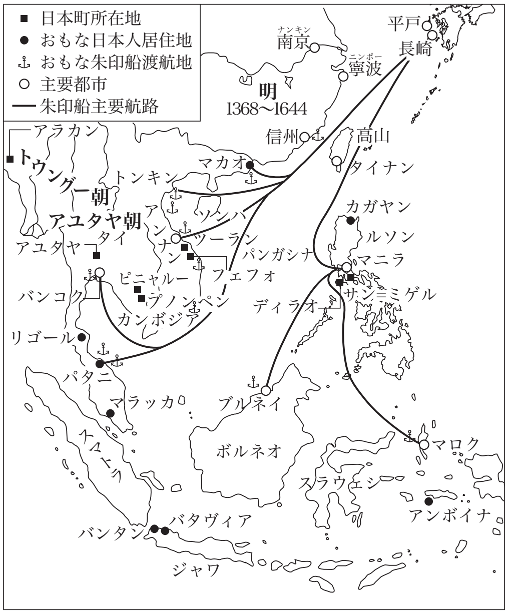
16 世紀後半の**新教〔プロテスタント〕国**オランダ・イギリスの台頭。

☆それぞれ**東インド会社**を設立，貿易独占権をもち植民地を経営した。

B　**明**(ミン)

家康は朝鮮や琉球王国を介(かい)して明との国交回復を交渉したが，**海禁政策**を理由に拒否され，日明貿易の復活はなかった。

☆中国商人が東南アジア各地で日本人と**出会貿易**(であい)を展開(＝**朱印船貿易**)。



C　**ポルトガル**（拠点＝ゴア，セイロン，マラッカ，**マカオ**）

種子島（たねがしま）に漂着（ひょうちゃく）（1543年？）後，各地で**中継**（ちゅうけい）**貿易**形式の**南蛮貿易**を展開。江戸時代初期には中国の**マカオ**を拠点に**中国産の生糸〔白糸**（しらいと）**〕**を長崎に運び**日本産の銀**と交換，巨利（きょり）を得ていた。

1604年　**糸割符**（いとわっぷ）**制度**の実施により，大打撃を被（こうむ）る。

☆**京都・堺・長崎**の**三カ所商人**らに糸割符仲間をつくらせ，**生糸を一定価格で一括**（いっかつ）**購入**のうえ分配させて，ポルトガル商人の暴利を抑（おさ）えた。

1609年　マードレ＝デ＝デウス号事件により貿易中断

☆有馬晴信（はるのぶ）が長崎でポルトガル船を焼打ち。

1611年　貿易は復活するが，以後はオランダなどに押され不活発（ふかっぱつ）。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定

1631年　糸割符仲間に**江戸・大坂**を加え**五カ所商人**となる

1636年　貿易に関係のない南蛮人の混血児（こんけつじ）を追放

☆ポルトガル人を出島（でじま）に集める。

1639年　ポルトガル船の来航を禁止

D　**スペイン〔イスパニア〕**（拠点＝**マニラ**）

平戸に来航（1584年）後，各地で南蛮貿易を展開。**1596年のサン＝フェリペ号事件**で通交は途絶えていたが，17世紀初めに復活。家康は**スペイン領メキシコ〔ノヴィスパン〕**との貿易を希望。

1609年　前ルソン総督**ドン＝ロドリゴ**，上総国（かずさのくに）に漂着。

1610年　家康，ノヴィスパンに向かうドン＝ロドリゴに船を与え，**京都商人田中勝介**（しょうすけ）を同行させたが，通商ルート開拓（かいたく）の目的は果たせず。

☆田中勝介らは最初にアメリカ大陸に渡った日本人とされる。

1611年　答礼使ビスカイノをともない，田中勝介が帰国。

1613年　**伊達政宗**（**仙台藩**の外様），家臣の**支倉常長**（はせくらつねなが）をメキシコ⇒スペイン⇒イタリアへと派遣（＝**慶長遣欧使節**（けいちょうけんおう））。

☆フランシスコ会士ルイス＝ソテロが同行，ローマ教皇（きょうこう）に謁見（えっけん）したが，スペインとの通商ルート開拓には失敗。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定。

1620年　支倉常長帰国，以後は禁教政策の影響で貿易は不活発。

1624年　スペイン船の来航を禁止

E　**オランダ**（拠点＝**バタビア〔ジャカルタ〕**）⇒16世紀後半にスペインから独立

オランダ船リーフデ号が**豊後国臼杵湾**に来航（**1600年**）後，航海士**ヤン＝ヨーステン〔耶揚子〕**が家康に登用され，外交・貿易顧問となる。

1602年　東インド会社を設立

1609年　幕府の貿易許可を受け，平戸にオランダ商館を開設。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定。

1623年　アンボイナ事件でイギリス勢力を一掃

1637年～島原の乱鎮圧に協力

1641年　平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す

☆この年から糸割符制度をオランダにも適用。

F　**イギリス**⇒毛織物工業が発達し台頭

リーフデ号の水先案内人**ウィリアム＝アダムズ〔三浦按針〕**が家康に登用され外交・貿易顧問となる。

1600年　東インド会社を設立

1613年　幕府の貿易許可を受け，平戸にイギリス商館を開設。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定。

1623年　アンボイナ事件でオランダに敗北

☆**自ら商館を閉鎖し日本を退去**，以後インド経営に専念する。

---

②朱印船貿易

A　**朱印船**⇒将軍が海外渡航を許可する**朱印状**を交付

多数の商人・大名・旗本らが共同出資し，おもに東南アジアで中国船との**出会貿易**を行う。

B　渡航国・地域

豊臣政権時に続き，日本人の海外進出はさかんに行われた。

あ　中国沿岸方面

マカオ，高山国（現在の台湾）。

い　インドシナ半島・マレー半島方面

アンナン〔北部はトンキン，中南部はコーチ〕（現在のヴェトナム），シャム（現在のタイ），カンボジア，ビルマ（現在のミャンマー）など。

う　南洋方面

ルソン(現在のフィリピン)，ブルネイなど。

C　**貿易家**

あ　**商人〔初期豪商〕**

末次平蔵(すえつぐへいぞう)，荒木宗太郎(そうたろう)(**長崎**)，**納屋助左衛門**(なやすけざえもん)，**今井宗薫**(そうくん)(**堺**)，**末吉孫左衛門**(すえよしまござえもん)(**摂津平野**(ひらの))，**角倉了以**(すみのくらりょうい)，**茶屋四郎次郎**(しろじろう)(**京都**)など。

い　西国大名(さいごく)

島津家久(薩摩)，松浦鎮信(まつらしげのぶ)(肥前平戸)，有馬晴信(肥前有馬)など。

う　その他

紅毛人(こうもうじん)(ヤン＝ヨーステン，ウィリアム＝アダムズら)など。

D　**貿易品**

輸出品⇒銀・銅・鉄・硫黄(いおう)・刀剣など。

☆当時の日本の銀輸出量は世界の銀産出額の３分の１に及んだ。

輸入品⇒生糸・絹織物・綿織物・砂糖・鹿皮(しかがわ)・鮫皮(さめがわ)・香木(こうぼく)など。

☆ヨーロッパ産のラシャ〔毛織物〕もあった。

E　**日本町**(にほんまち)**〔日本人町〕**　⇒全８カ所

あ　**シャム**　⇒**アユタヤ**

☆駿河国出身の**山田長政**(やまだながまさ)が日本町の長(おさ)となる。のちリゴール太守(たいしゅ)にもなったが，政争で毒殺された。

い　カンボジア　⇒プノンペン，ピニャルー

う　コーチ　⇒ツーラン，フェフォ

え　ルソン〔呂宋(るそん)〕　⇒ディラオ，サン＝ミゲル

お　ビルマ　⇒アラカン

③鎖国

オランダ商館のドイツ人医師**ケンペル**は，著書**『日本誌』**で日本がヨーロッパに対し閉ざされた状態であることを指摘した。1801年にこれを和訳した元オランダ通詞〔長崎通詞〕**志筑忠雄**は，これを「鎖国論」と題した。

A　目的

あ　**キリスト教禁止の徹底**　（＝幕府による統一支配の障害とみなす）

い　**幕府による貿易利潤の独占**（＝貿易に関係する西国大名の富強化を防止）

B　経過

1600年　オランダ船リーフデ号，豊後国臼杵湾に漂着

1609年　マードレ＝デ＝デウス号事件

　　　　平戸にオランダ商館開設

1612年　岡本大八事件

　　　　幕領に禁教令

1613年　**全国に禁教令**

　　　　平戸にイギリス商館開設

1614年　宣教師や高山右近らをマカオ・マニラに追放

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定

1622年　元和の大殉教

1623年　アンボイナ事件⇒**イギリス，自ら平戸の商館を閉鎖して退去**

1624年　**スペイン船の来航を禁止**

1630年　禁書令

1631年　**奉書船**制度開始⇒朱印状の他に**老中奉書**も所持する

1633年　**奉書船以外の海外渡航禁止**および５年以上の海外居住者の帰国禁止（**鎖国令Ⅰ**）

1634年　海外との往来や通商を制限（鎖国令Ⅱ），長崎に**出島**を建設

1635年　**日本人の海外渡航および帰国を全面禁止（鎖国令Ⅲ）**

　　　　☆中国船の来航地も長崎に限定。

　　　　☆奉書船は廃止，朱印船貿易終結。

1636年　貿易に関係のない南蛮人の混血児を追放（鎖国令Ⅳ）

　　　　ポルトガル人を長崎の出島に移す

1637年～島原の乱（～38年）

1639年　**ポルトガル船の来航を禁止（鎖国令Ⅴ，寛永十六年令）**

1641年　平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す⇒鎖国の完成

☆オランダ人と日本人との自由な交流も禁じ，長崎奉行が厳しく監視することになった。

C　影響

あ　**貿易独占・禁教の徹底により強固(きょうこ)な幕藩体制が確立。**

い　海外進出の途絶と産業・文化面における海外からの孤立(こりつ)。

う　平和が続き，独自の気質(きしつ)や文化が発達。

④長崎貿易

A　**中国(明⇒清へ)**

1616年，中国東北部の**女真〔満州族〕**のヌルハチが後金を建国。その死後，ホンタイジが内蒙古を従え国号を**清**と改め朝鮮を朝貢国とした(1636年)。

☆**漢族**の明は，農民反乱軍により1644年に滅亡。**北京**に遷都した清は，中国史上最大の帝国となった。

あ　1689年以降は長崎郊外の**唐人屋敷**に居住

☆唐船風説書を提出，長崎奉行が唐通詞を通じて聴取した。

い　貿易品

清は海禁政策を解除したので，貿易額は増大。

輸出品⇒銀・金・銅・海産物(俵物〔いりこ・干し鮑・ふかひれ〕)

輸入品⇒生糸・絹織物・書籍・西欧や南方の産物など。

B　**オランダ〔和蘭・阿蘭陀〕**

あ　**出島のオランダ商館**が貿易を独占

☆東インド会社〔VOC〕の本店はバタビア〔ジャカルタ〕。

い　**オランダ風説書**による海外情報の獲得

☆オランダ船の入港ごとに，**オランダ商館長〔カピタン・甲比丹〕**が長崎奉行を通じて老中に提出。原文の翻訳には**オランダ通詞〔長崎通詞〕**があたった。

☆1633年からオランダ人の江戸参府が，ほぼ毎年1回制度として行われた。

う　貿易品

輸出品⇒**銀・金**・銅・有田焼〔伊万里焼〕・漆器・樟脳〔カンフル〕など。

輸入品⇒**生糸**・絹織物・綿織物・毛織物・薬品・砂糖・書籍など。

C　貿易の推移

1655年　糸割符制度を一時廃止

☆競争入札による相対自由貿易となった。

1685年　糸割符制度を復活

初めて長崎貿易の輸入額を制限

☆「定高貿易仕法」

1688年　清船の来航を年間70隻に制限

1689年　長崎郊外に**唐人屋敷**を建設

☆長崎の町に雑居していた清国人の居住地を限定。

1697年　清船の来航を年間80隻とする

1715年　海船互市新例（かいはくごししんれい）〔長崎新令・正徳（しょうとく）新令〕

☆中国〔清〕＝年間30隻・銀6000貫目

☆オランダ＝年間 ２隻・銀3000貫目

⑤朝鮮との関係

A　貿易の再開

1609年，**朝鮮**と**宗氏**（**対馬藩**）が**己酉約条**〔**慶長条約**〕を結び貿易再開。日本からの使節は将軍と宗氏とに限られ，**宗氏が貿易を独占**。釜山に**倭館**が設置され，年間20隻の歳遣船を派遣。

☆対馬藩は耕地に恵まれず，貿易の利潤が家臣の知行のかわりとなった。

B　**朝鮮からの使節**（1607年～1811年，計12回）

あ　目的

当初は朝鮮侵略時の捕虜返還要求（回答使兼刷還使，３回）。その後，**新将軍就任の慶賀**（**通信使**，９回）がおもな名目。

い　待遇

対馬藩が同行し，幕府は丁重に応対。

☆文化交流のみでなく，将軍の対外的権威誇示の場でもあった。

---

⑥琉球王国との関係

家康は当初，対明交渉の仲介を担わせようとしたが，琉球王国はこれを拒否。

A　**薩摩藩の支配（1609年～）**

幕府の許可を得た**島津家久**が琉球に侵攻，首里城（しゅりじょう）を落とし国王**尚寧**（しょうねい）を服属させる。

☆与論島（よろんじま）以北は薩摩藩領となる。

☆薩摩藩は琉球にも検地・刀狩（かたながり）を行い兵農分離を推進，農村支配を確立したうえ，通商交易権も掌握（しょうあく）した。

B　**日中両属**

８万9000石（ごく）余りの独立王国形式を残し，**中国（明のち清）との朝貢（ちょうこう）貿易も継続させる。**

☆清には毎年進貢船（しんこうせん）を派遣。福建（ふっけん）の港から陸路北京に向かった。

☆清からは冊封使（さくほうし）が来琉（らいりゅう）した。

C　**琉球からの使節**（計20回，薩摩藩が同行）

異国風の服装・髪型などを強制。沿道の人々に，「異国人」としての琉球人が将軍に入貢しているかのようにみせた。

あ　**慶賀使**（けいがし）　　**将軍の代替わりごとに派遣**

い　**謝恩使**（しゃおんし）　　**国王の代替わりごとに派遣**

D　正史（せいし）『中山世鑑』（ちゅうざんせいかん）の編纂（17世紀半ば）

向象賢（しょうしょうけん）〔羽地朝秀（はねじちょうしゅう）〕による。

⑦蝦夷地との関係

A　**松前藩**の支配(1604年〜)

1599年　蝦夷ヶ島南部の和人地に勢力をもっていた**蠣崎慶広**(かきざきよしひろ)が徳川家康から蝦夷地支配を認められ，**松前氏**と改称。

1604年　家康から**アイヌ**との交易独占権を保障される。

☆１万石の外様大名として松前藩を形成し，**商場知行制**(あきないばちぎょうせい)を採用。

B　**和人**(わじん)〔シャモ〕へのアイヌの抵抗

1669年　シャクシャインの戦い

☆津軽藩の協力を得た松前藩により鎮圧。これ以降，アイヌは全面的に松前藩に服従させられることになった。

☆18世紀前半までには**場所請負制**(ばしょうけおいせい)に転換。このころ，アイヌは自立した交易相手ではなく，漁場などで和人商人に使われる労働力となっていた。

1789年　クナシリ島の蜂起(ほうき)〔クナシリ・メナシの蜂起〕

☆アイヌ最後の抵抗

２　寛永期の文化

①寛永期の文化の特色

A　桃山文化の豪華さを継承しつつ，伝統的な公家文化も復活。

B　将軍家・大名と，公家や京都の上層町衆が担(にな)い手となる。

C　社会の安定にともない，優雅(ゆうが)で落ち着いた文化となる。

---

②建築

A　**日光東照宮(にっこうとうしょうぐう)**　　（**下野国(しもつけのくに)，権現造(ごんげんづくり)**）

☆徳川家康を東照大権現として祀(まつ)る，**霊廟(れいびょう)建築**の代表。

B　**日光東照宮陽明門(ようめいもん)（下野国）**

C　**桂離宮(かつらりきゅう)**　　（**京都，数寄屋造(すきや)**）

☆八条宮智仁親王(はちじょうのみやとしひと)の離宮，回遊式(かいゆうしき)庭園の代表。

☆数寄屋造は，書院造に草庵(そうあん)風の茶室を取り入れたもの。

D　**修学院離宮(しゅがくいん)**　　（**京都，数寄屋造**）

☆後水尾(ごみずのお)上皇の離宮。

E　清水寺(きよみずでら)本堂　　（京都）

F　**延暦寺根本中堂(こんぽんちゅうどう)**　（**近江国**）

☆天台宗山門派の総本山。

G　**万福寺大雄宝殿(まんぷくじだいゆうほうでん)**　（**山城国宇治(うじ)**）

☆隠元隆琦が明から伝えた黄檗宗(おうばくしゅう)の総本山。中国様式の建築。

H　崇福寺(そうふくじ)大雄宝殿　（長崎）

☆黄檗宗寺院，中国様式の建築。

---

③絵画

A　**狩野派**

狩野探幽が**幕府御用絵師**となり江戸へ下るが，以後狩野派は様式の踏襲にとどまった。

あ　**大徳寺方丈襖絵**　（**狩野探幽**）

い　**夕顔棚納涼図屏風**（**久隅守景**）⇒狩野探幽に破門される

B　**住吉派**

土佐派から分離した**住吉如慶**が住吉派を名乗る。

C　町衆による**装飾画**や風俗画が発達

あ　**風神雷神図屏風**（**俵屋宗達**）

☆土佐派の画法をもとに，装飾画に新様式を生み出し，続く元禄期の琳派の先駆となった。

い　**彦根屏風**

☆彦根藩（近江国）井伊家が所蔵。

---

④工芸

A　**磁器**

色絵花鳥文深鉢　（**酒井田柿右衛門**）

☆上絵付の技法で**有田焼**〔**伊万里焼**〕の**赤絵**を完成。

B　蒔絵

舟橋蒔絵硯箱　　（**本阿弥光悦**）

☆京都の上層町衆であった光悦は，家康から鷹ヶ峰に土地を与えられ芸術村を形成。多才な文化人として知られ，楽焼の茶碗や角倉素庵との**嵯峨本**（装飾本の一種）出版などでも有名。

---

⑤文芸

A　**仮名草子**

教訓や道徳を題材とし，実用性・娯楽性に富む，通俗的な絵入りの仮名書き小説。

あ　二人比丘尼　（**鈴木正三**）

い　東海道名所記（浅井了以）

う　可笑記　　　（如儡子）

B　**俳諧**

連歌の発句（五・七・五）が俳諧として独立。

あ　**貞門俳諧**　　（**松永貞徳，京都**）⇒形式的な滑稽さと優雅さ。

い　**談林俳諧**　　（**西山宗因，大坂**）⇒より自由・平易さを求める。

---

⑥学問

儒学の一派である**朱子学〔宋学〕**が，君臣・父子の別をわきまえ，上下の秩序を重んじる封建教学として幕府・藩に保護される。

A　**藤原惺窩**

もと相国寺の僧。還俗して朱子学を禅宗から解放し，**京学**の祖となる。

B　**林羅山〔道春〕**

もと建仁寺の僧。藤原惺窩の門人となり，師の推薦で家康に登用され江戸に下る。４代もの将軍に仕え，朱子学的思想で幕藩体制の身分秩序を正当化するなど，支配体制の整備に活躍。幕府の学問・教育を代々担う**林家**の祖となる。

☆のち上野忍ヶ岡に私塾**弘文館**を開設。

第１３講　確認テスト

1　1613年，家臣の支倉常長をスペインに派遣した大名とは？

①高山右近　②福島正則　③伊達政宗　④島津家久

2　1600年，オランダ船リーフデ号が漂着した地名とは？

①大隅国種子島　②薩摩国鹿児島　③土佐国浦戸湾　④豊後国臼杵湾

3　幕府の貿易許可を得たオランダ・イギリスがそれぞれ1609年・1613年に東インド会社の支店である「商館」を置いた地名とは？

①堺　②博多　③平戸　④長崎

4　徳川家康に外交・貿易顧問に登用され「三浦按針」ともよばれたイギリス人とは？

①ヤン＝ヨーステン　②ウィリアム＝アダムズ
③ドン＝ロドリゴ　④ルイス＝ソテロ

5　呂宋〔ルソン〕貿易で名を上げた，堺の朱印船貿易家とは？

①末次平蔵　②納屋助左衛門　③末吉孫左衛門　④茶屋四郎次郎

6　ポルトガル船の来航を禁止する，五度目の鎖国令（寛永十六年令）が出された年は？

①1633年　②1635年　③1639年　④1641年

7　ヌルハチとホンタイジ父子が建てた，中国史上最大の王朝とは？

①金　②元　③明　④後金(のち清)

8　日本が中国への輸出品とした「俵物三種」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①いりこ　②干し鮑　③ふかひれ　④上海蟹

9　1609年，薩摩藩主島津家久に服属した琉球国王とは？

①尚巴志　②尚円〔内間金丸〕　③尚寧　④尚泰

10　1599年，徳川家康から蝦夷地支配を認められた大名とは？

①武田〔蠣崎〕信広　②蠣崎慶広　③伊達政宗　④上杉景勝

11　京都の桂離宮や修学院離宮に用いられている建築様式とは？

①寝殿造　②書院造　③権現造　④数寄屋造

12　『風神雷神図屛風』を描いた京都の町衆とは？

①本阿弥光悦　②住吉如慶　③俵屋宗達　④尾形光琳

解答

1	③	2	④	3	③	4	②	5	②
6	③	7	④	8	④	9	③	10	②
11	④	12	③						